

オトコの子育てを考える

第43回くまもと子育てトーク

第43回くまもと子育てトークが8月27日に町文化ホールで行われ、約250人が集まりました。

講演は2部構成で前半はタレントの照英さんが3人の子どもを育てる立場から、男の子育て「イクメン」に触れ、「子育ては楽しいことばかりではないが時間がたてば楽しいことだけが記憶に残るので頑張って」と参加した皆さんを激励していました。後半は子育て応援ユニット「こそだてがかり」の講演も行われました。



子育てについて自身の経験について語る照英さん

子どもが技術に触れる機会を

美咲野小学校 「ものづくり体験学習」

ものづくり体験学習が8月27日に県立技術短期大学校で行われました。これはプログラミングが小学校の必修科目になる3年後を見据え、「子どもたちに技術に触れる機会に」と同大学校と同小PTAが協力して行ったものです。プログラミングのほかにも、ロボット操作体験、LED電灯作成などがあり、子どもたちは目を輝かせていました。参加した清水雄翔さんは「家のパソコンでもしてみたい」と笑顔で答えていました。



パソコン上のキャラクターをプログラミングで自由に動かす子どもたち

復興へ進む大きな一歩

国道57号北側復旧ルートは引水と阿蘇市赤水までを結び、全長約13kmの道路です。国土交通省が事業主体となり、現在は用地交渉と二重峠トンネル工事、道路改良工事、地下水路設置工事を進めています。

大津と阿蘇の両側から掘り進む二重峠トンネルは全長3,650mになります。

現在、国道57号の代替ルートになっている県道北外輪

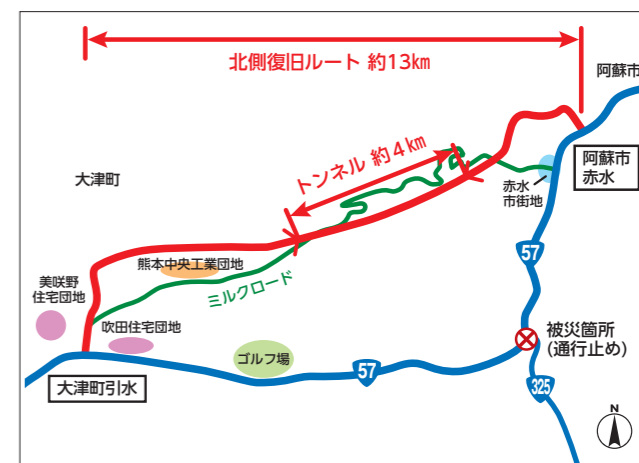


12大津側トンネル入り口3内部では機械作業がすすめられています

整備進む国道57号北側復旧ルート

山大津線(ミルクロード)は震災前と比較し、交通量も増えています。完成予定は平成32年度で、通行できるようになれば阿蘇地方への移動時間が大幅に改善される予定です。近隣住民の皆さんや阿蘇地域に住んでいる皆さんからも一日も早い完成が望まれています。

復興への大きな一歩のためにも応援よろしく申し上げます。



地区の生活道路が復活

外牧大林線(代官橋)完成

外牧大林線の代官橋の架け替え工事が完了し、8月27日に通行可能になりました。代官橋は地区の重要な生活道路で昭和31年に架けられ、地域の生活を支える重要な橋でした。しかし、平成24年7月熊本広域大水害で被災したため、架け替えることになり、工事期間も含め地域の皆さんには不便な状況が続いていました。念願の完成により大津東小の児童らは通学時間が短縮され、そこを通る地域の皆さんにも喜ばれています。



以前の代官橋よりも道路幅も広がりより安全で便利になりました

くまモンと一緒に〇×クイズ

平成29年度「くまもとキッズウィーク」

県マスコットキャラクター・くまモンが9月1日に光進会(室)の多目的ホールを訪れ、よろこび保育園、第二よろこび保育園の子どもたちと交流しました。これは、たくましく心豊かな熊本の子どもを育てるために行われている「くまもとキッズウィーク」の一環として行われたものです。くまモン登場に子どもたちは大興奮。

生活習慣に関する〇×クイズが行われ、くまモンからの出題に元気よく答えていました。



くまモンからの〇×クイズで正解しガッツポーズして喜び子どもたち

新工場が建設開始

(株)豊田工業所・工場新築 起工式

(株)豊田工業所(本社：八代市)の新工場を建築するための起工式が8月21日に行われました。新工場は杉水地区に建設されます。

同社は、主に高性能林業機械などの製造をオーダーメイドで行っています。新工場は平成30年4月から操業開始の予定です。式の中で豊田誠社長は「地域の皆さんの協力もあり、無事に着工を迎えることができとてもうれしく思います」とあいさつしました。



起工式に参加された皆さん

美しい道路を町のために

大津建設業組合 社会貢献事業

大津建設業組合による町道、県道沿いの除草や街路樹などの伐採作業ボランティア活動が8月23日に行われました。これは、同組合が主体となり、電気・機械設備組合、造園組合により毎年実施されているものです。

当日は早朝からオックス広場駐車場に約70人が集まり、出発式が行われその後作業が開始されました。日ごろ皆さんが利用している道路沿いの高木が高所作業車により手際よく伐採され、きれいに整備されました。



日差しの中の作業ありがとうございました